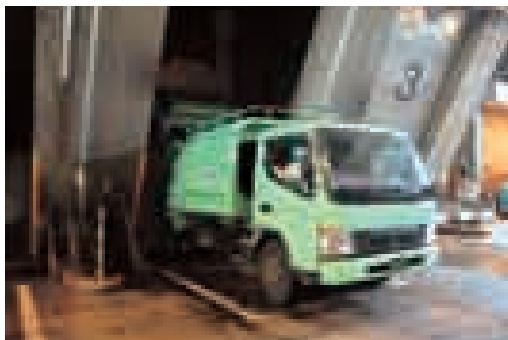


④ごみピットに投入

搬入されたごみは、燃やせるごみや資源ごみなどの種類に応じて、それぞれ異なるごみピット（ごみを一時的に貯留する施設）に投入されます。



③大仙美郷クリーンセンターへ搬入

大仙美郷クリーンセンターの入り口で、ごみを積んだ状態の収集車の重さを計量します。ごみを排出した後に再度、収集車の重さを計量し、重量の差し引きで搬入されたごみの量が計算されます。



②ごみの収集・運搬

出されたごみは、町が委託している業者が収集し、大仙美郷クリーンセンターへ運搬します。



①ごみを出す

燃やせるごみ、燃やせないごみ、ビン・缶、ペットボトルなどに分別されたごみが、指定された曜日に指定された場所へ集まります。



ごみが処理されるまで

各家庭から出されたごみは、大仙市にある

大仙美郷クリーンセンターへ運ばれ処理されます。

ごみが処理されるまでの流れについてご紹介します。

大仙美郷クリーンセンター（住所：大仙市花館字大戸下川原2-10）は、地域の家庭系・事業系ごみの焼却や、粗大ごみ・資源ごみ等の処理を行うために、大仙市と美郷町が共同で設置運営している施設です。大仙美郷クリーンセンターの運営そのものは、自治体が行う業務の一部を共同処理するために設けられた法人（特別地方公共団体）である「大仙美郷環境事業組合」が行っています。

大仙美郷環境事業組合の 佐藤龍宝主幹にお話を聞きました

「燃やせるごみといっても、そのごみの中には通常約46%の水分が含まれていて、夏場になると湿気が上がるため水分は65%以上まで増加します。水分が多いと焼却する際に燃え残りが発生してしまいますので、十分に水切りをしてから出してください。

燃やせないごみでは、使用済みのスプレー缶に穴を開けずにごみとして出したため、収集の途中で爆発して、ごみ収集車で火が発生したこともあります。大変危険ですので、ごみを出す場合は決められた方法で出すようにしてください。

また、大仙市・美郷町の小学生が当施設を見学で訪問することが多いのですが、Reduce（リデュース）、Reuse（リユース）、Recycle（リサイクル）の3R活動について説明するようにしています。大人から子どもまで、日常生活を営む上で環境問題は切り離せません。一人ひとりがごみに対する意識を持つことが大切だと思います。」



子どもたちに施設の説明をする
大仙美郷環境事業組合職員

循環型社会を目指して3R活動 Reduce（リデュース） Reuse（リユース） Recycle（リサイクル）

■Reduce（リデュース）

～ごみになるものを減らしましょう～

すぐごみになるものは買わないようにするなど、ごみの発生抑制を心がけましょう。

■Reuse（リユース）

～ものを繰り返し大切に使いましょう～

家で使わなくなったものでも、すぐ捨てずに人に譲るなど、繰り返し利用することを考えてみましょう。

■Recycle（リサイクル）

～使い終わったらもう一度

資源にしましょう～

身近なリサイクル活動に参加しましょう。リサイクル商品を買うことも立派なリサイクル活動の一つです。

5 ごみを焼却

ごみピットから運ばれたごみは、850℃～950℃の焼却炉内で完全に焼却されます。焼却で発生する蒸気は、施設内の冷暖房・給湯に使用されるなど、エネルギーの再利用も行われています。



！ 燃やせるごみの中に、燃やせないごみが混ざっていると、焼却の際に燃え残りが発生してしまいます。

燃やせる
ごみ

5 資源ごみの選別

スチール、アルミ、ビンなどに自動的に選別されます。

6 再利用

選別された資源ごみは、種類別に圧縮されて保管倉庫に運ばれます。その後、引取業者へと売却されます。売却後はリサイクルされ、また新しい製品へと生まれ変わり市場へ出回ります。

■資源系スチール圧縮成型品

約2000個（約60kg）→売却価格600円（有償単価10円/kg）

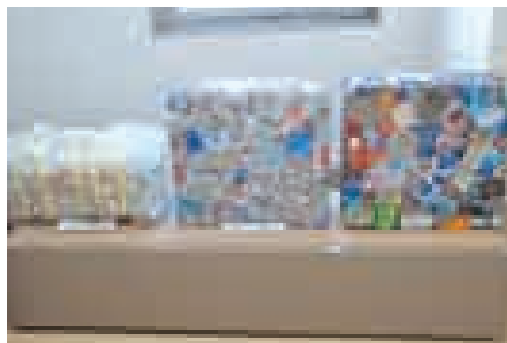
■資源系アルミ圧縮成型品

約2000個（約30kg）→売却価格950円（有償単価25円/kg）

■ペットボトル圧縮成型品

約330個（約16kg）→売却価格796.8円（有償単価49.8円/kg）

※有償単価は平成24年度上期のものです。



資源ごみ